NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター　イデア

2014

8月号

つながり×ひろがる　　いちのせき市民活動センター

～もくじ～

2｜二言三言~ 観光を通して地域を見つめる ~

4｜団体紹介~ 猿沢峠山伏神楽保存会 ~(大東)

5｜地域紹介~ 弥栄1民区 ~(一関)

6｜企業紹介~ 株式会社マリアージュ~(千厩)

7｜センターの○○~ 情報紙ideaが出来るまで ~

フタコト×ミコト

第3回　二言三言 6/124,891

観光を通して地域を見つめる

対談者　株式会社アーク　取締役会長　**橋本志津**さん
有限会社げいび観光センター　専務取締役　**菅原喜哉**さん
聞き手　いちのせき市民活動センター　センター長　**小野寺 浩樹**

わが町自慢の地域資源

【小野寺】今回は、過去に idea の中で「企業の地域貢献取材」としてお話を伺った企業の中から、市内の「観光」にスポットをあて一関市ならではの「おもてなし」と地域資源をどのように発信しているか、各社･各地域の目線でざっくばらんにお話していただければと思います。

アークさんではもともとは埼玉県で養豚をされていたとのことですが、藤沢町での起業はどのような経緯だったのでしょうか？

【橋本】亡くなった主人が父と埼玉の深谷市で養豚業を始めたのですが、深谷市は都市近郊型の工業団地。軌道に乗り始めたころ、高度成長期まっただ中という事もあり拡大が難しくなったのです。主人が大規模養豚企業を目指すために適した場所を探していたころ、主人の恩師で、私たちの仲人でもあった方に岩手を紹介していただき、藤沢町の黄海地域というところを知りました。色々あって、黄海の上中山という集落の山を約 20 ヘクタール買うことができましたが、当時は今のように開かれた道路もなく、ほとんど地元の人でさえも入らない山でした。それが、株式会社アークのスタートです。「観光業」というよりも、私たちは本来「生産者」ですから、最初は豚肉の生産。それから徐々に加工、販売、サービスと段階的にやって来たわけです。

【小野寺】現在の観光地としてのアーク牧場はすごく広々としていますが、どういった経緯があったのでしょうか？

【橋本】国営農地開発という事で、行政側から「耕種農業をやってください」という場所で非常に厳しい縛りがあったわけです。それまでは、養豚と手作りハムの加工がメインでしたから、「畑作を中心に」ということで、私たちも戸惑いながら試行錯誤した時期でした。そこで、農業と言っても従来型の農業ではなく、「若者が夢のもてる未来型農業を展開してみよう」となったのです。

【小野寺】なるほど。発想の転換ですね。

【橋本】当時、農業は「3K」と呼ばれ若者離れが進んでいましたからね。しかし私たちが日頃生きていくために必要な「食」は生産者がいて初めて成り立つものです。そこで私たちは、若者や子どもたちに農業に対する知識や大切さを伝えるために、実際体験できるよう環境を整えていきました。アーク牧場は平成 4 年にオープンし、翌年の平成 5 年には、体験学習の受け入れ宿泊施設としてペンションをオープンしました。当時は珍しさもあり、マスコミの取材もあってお客様も増えていき、地域の方々に徐々に理解していただいたのです。

【菅原】アークさんは、6 次産業の先駆けですよね。

【小野寺】当初の養豚の生産から始めて 40 数年、藤沢という地域で体験型を取り入れて 20 数年という、培ってきた地域との関わりや経験というのは大きいのだなと感じました。

さて、げいび観光センターさんにお話を伺いたいのですが、一関市の観光において、東山の「猊鼻渓」は

なくてはならないという声が多く、東山町の持っている資源は強いなと感じているところなんですが・・・

【菅原】そうですね。猊鼻渓の観光規模が大きくなってきたなと感じているのは、ここ 30 年くらい。当時は団体旅行が中心で、団体のお客様の受け入れに営業も力を入れていました。多い時には年間 40 万人の観光客を受け入れることができていました。やはり、時代の変化とともに、団体が少人数のグループ化や個人での旅行客が多くなり、今までの観光形態は徐々に変わってきているというのが現状です。観光だけではなく、農業・商業・工業等々含めた地域力を有効に使いお客様を「おもてなし」する時代にきているなと感じています。当社では過去の成功体験として「大きく団体客を取り入れた」という実績からの転換がその要因にもなっているのでは？と感じています。そういった中で、ここ 4、5 年前から、いろいろな取り組みをしてきてはいます。しかし、単独ではうまく成り立っていかないなという事で、一関市周辺の企業や観光施設等とうまくコラボレーションができるようなことを現在探している最中です。

　また、「もう一度地元の方に興味・関心を持ってもらいたい」というところがある反面、現在は海外に目を向けているところです。

【小野寺】海外ですか？

【菅原】はい。特に台湾のお客様ですかね。猊鼻渓に来てくださいというよりも、どちらかというと、日本に来てくださいという営業展開です。初めての方は日本の観光というと東京･大阪を中心にされるようですが、「２、３回目日本に来るときは岩手に来てください」「岩手まで来たら一関、猊鼻に来てください」という感じですね。台湾からは、年間に２万人くらいのお客様がいらっしゃいます。

【小野寺】海外に目を向けるという発想があったとは驚きました。

商品・資源の価値を知り、それを広げていく

【小野寺】アークさんの経営理念の一つに、「食はいのち」という言葉ありますが・・。

【橋本】そうなんです。農業は唯一命を生み出す産業ですからね。健康産業、生命産業とも言われますね。ですから、観光という事にこだわりはないんですね。お客様に来ていただく、私たちの商品を認めていただき、この地までわざわざ買いに来て下さるという方のためにそういった方々をさらに増やしていこうという気持ちです。ですから「食はいのち」というコンセプトをしっかりと理解して頂きたいと・・・。うちの商品は決して安くはないものですからね。うちの経営理念をしっかりと知っていただき、共感してくださる方々にこそ来ていただきたいなと思っています。

【小野寺】そうですね。今は昔と違って、「安いから飛び付く」って時代ではないですよね。そこにある価値に人は多く群がっていくかなって、実際アークさんの持っている商品価値や、げいびさんの持っている資源価値など、その価値に気付いてきてくれるっていうことですよね。時代は変化して、自己実現ができることを求める人が多くなってきていると思うんです。職業の選択としても言えると思うんですよね。

【小野寺】今までお話を伺ってきましたが、広い一関市の中で、地元も見つつよそも見るという視点がすごいなと思いました。企業としては自分たちのマーケットがどれだけあるかということが企業成長にとってすごく大事なことだと思うんですが、地域の中でも「自分の地域の中にこういう企業があって、このような活動をしているんだよ」なんていう事も、しっかり知っておく必要があると思うんですよね。そして、地元の人たちが地域にある企業のこと、または活動をもっと広げていかなきゃと思います。

　「企業さんが我が地域にこれだけの人を連れてきているんだよ」という点がお互い共存の土台になるのではないでしょうか。これからそういった面で企業さんと地域の橋渡しの部分になれればいいなと感じています。本日はお忙しい中どうもありがとうございました。

【橋本・菅原】ありがとうございました。

基本情報

【株式会社アーク】
住所：〒029-3311 一関市藤沢町黄海字衣井沢山 9-15
電話：0191-63-5100　FAX：0191-63-5101
【有限会社げいび観光センター】
住所：〒029-0302 一関市東山町長坂字町 467
電話：0191-47-2341 FAX：0191-47-3288

紙面で紹介しきれなかった部分は、「こぼれ話」としてブログに掲載しています。気になる方はチェック！
URL：blog.canpan.info/ichinoseki/category_15/1

猿沢峠山伏神楽保存会

団体紹介

保存会会長　菅原　豊一さん（右）
猿沢峠山伏神楽代表
小野寺　清一さん（左）

～基本情報～
◆保存会会長：菅原　豊一さん
◆連絡先：〒029-1111
一関市大東町猿沢字宿通前 15
◆電話：0191-76-2411

継承を通し、つながり深まる地域の絆

伝える重責～猿沢峠山伏神楽の由来～

一関市大東町猿沢の峠地区は、大町裏、宿通、山滝、大久保の 4 集落から成る、自然豊かな中山間地で、古くから伝わる神楽を受け継ぎ、住民一丸となって神楽衆の育成に取り組んでいます。

今年で継承 150 周年を迎える猿沢峠山伏神楽。正式には「早池峰系大償野口斎部流猿沢峠山伏神楽」といい、地域の言い伝えによると、「江戸時代の文久元年に同地区の峠金山が大変栄えたと同時に、若者の風紀が乱れ、青少年に悪影響がでた。このことを心配した地元の村上友十郎・新山久之助・菅原吉之助らが和賀郡東晴山（現花巻市東和町）に伝わる大償神楽の流れを汲む山伏神楽野口流の教えを横川瀬平氏から受け、峠地区の青少年に健全娯楽として教え、風紀の乱れを一掃した」とされています。同神楽は終戦後に廃絶寸前まで消えかかったことがありましたが、昭和 31 年に地元の神楽研究家である村上護郎氏が大償から佐々木直見、藤原貞治の両氏を招いて稽古をし直し、現在も大切に継承されています。

「昔は今のようにビデオなど、演舞の記録を残すものがなく、口で伝えられてきたんだよ」と語る神楽代表の小野寺さん。38 年間神楽太鼓を担当し、その独特なリズムは見聞きして先代から教わったとのこと。受け継ぐ姿勢、守る姿勢、育てる姿勢が整い地域の絆として引き継がれていることが、取材から伺うことができました。

地域と神楽～後継者育成に力を注ぐ～

猿沢峠山伏神楽保存会は、昭和 58 年 8 月に峠自治会内に設立され、地区内の約 80 戸の全世帯が加入しています。神楽衆は、20 代から 60 代までの 16 名と保育園から高校生までの子ども組で構成されており、特に、後継者対策として子ども神楽の育成に力を入れています。「集落の家庭のほとんどが、代々何らかの形で神楽に関わってきたからね。協力体制がしっかりと集落に根付いているんです。」と保存会会長の菅原さんは語り、「我々が小さかった頃、祭りと言えば神楽を見るのが楽しみで、神楽衆はすごく人気だったんだよ。今は、神楽以外にもたくさんの楽しみ方があり、価値観も様々になってきた。時代は変化しつつあるけれど、この地で代々受け継がれてきた神楽をこれからも支え若者の育成に力を入れていきたい」と続けます。

平成 6 年には、町の（当時の大東町）無形民俗文化財に指定され、峠地区だけではなく猿沢地域全体で保存事業を受け入れる体制が整い、地域の伝統神楽として、猿沢神社の例大祭を中心に、御祝事での演舞の他、市内外のイベントに出演しています。

150 周年記念式典

取材を行ったのは、梅雨真っただ中の 6 月でした。神楽代表の小野寺さんから「7 月 21 日（月・祝）に 150 周年を記念した神楽公演を開催するんですよ」という情報をいただきました。その様子を是非何らかの形で読者の皆様に提供が出来ればいいなと思っております。

昭和 46 年まで猿沢小学校峠分校であった跡地を改装した「峠自治会館」で、毎週木曜日の夜に神楽の練習を行っています。

地域紹介

弥栄１民区

しめ縄づくりの時に撮影した
弥栄１民区の皆様

～基本情報～

◆区長：阿部 敬一 さん
（平成 23 年度～　２期４年目）

◆弥栄１民区は、34 世帯約 120 人が住む中山間地域で、西風（ならい）１区・２区の２つの区で構成されています。

水害から地区民を守り、安心安全な地域を目指して

地区民の力を結集！「西風（ならい）集会場」の建設

弥栄１民区は、川崎町に入る北上大橋の手前、国道２８４号線の下を通る県道２３９号線を２．６km 程南下した場所にある民区で、北上川から流れる水が民区の田畑を潤す水資源豊かな地域です。

今回は、弥栄１民区で生まれ育ち、自治会と連携しながら住民の安心安全な暮らしを考え続ける阿部敬一区長さんにお話を伺いました。

時を遡ること昭和 25 年。民区の世帯数が 50 戸近くあり、若者を中心に地域行事が活発だったこの頃、地区民から集会場の必要性を求める声が高まり、集会場の建設を決定。「できるところは自分達の力で」と、建設に必要な資材は全て住民が家から持ち寄り、区内に住む大工さんを中心に全て住民の力で「西風集会場」を完成させました。

当時４歳だった阿部さんのほか多くの住民が集まり完成を祝福し、その後、集会場の誕生は地域行事をさらに盛り上げ、住民の交流の機会を増やしました。改修工事を重ねながら、今も弥栄１民区の日々の活動を支え続けています。

民区と自治会、両方で地域を支える

弥栄１民区は、弥栄にある８民区の中で唯一、民区と自治会が別にある地域です。自治組織である「西風振興会」は、50 年程前に地元の議員の後援会を再編成した組織で、地域のためになる活動を行うことを目的に、総務・文教・生活・産業という４つの部会を設置。地域行事のほとんどは西風振興会が主催しています。

中でも特徴的な行事は、文教部で行う「ぼっぽり会」。“ぼっぽり”とは、“突然・急に”という意味で、農作業が一区切りついた時に、地区民の「よし、ぼっぽり会やるか！」の一言で、突然企画される行事です。会を行うも行わないも住民の気持ちしだいという珍しい行事ですが、過去には田植え競争やカラオケ大会、焼き肉交流会等、ユニークで愉快な企画を実施し、年齢関係なく地区民の参加率が高い人気行事の一つです。

生活部が行う年末のしめ縄づくりは、地区民の息を合わせた共同作業で５ｍものしめ縄２本を１時間弱で製作。完成したしめ縄は、地域の守り神である日吉神社に奉納され、奉納後に行う元旦祭と新年交賀会は住民が年明け一番に行う交流行事です。このほか、さなぶり研修会や親子レク等、年間を通じて住民同士の交流行事を多数行っています。

民区と西風振興会という２つの組織で地域が運営されていますが、「地域の行事は、西風振興会の皆さんが行ってくれるので本当に助かります」と阿部さんは感謝の気持ちを口にしていました。

水害に強い地域を目指して

弥栄１民区は、川が近くを通る平たい地形のため、水害が発生しやすい地域です。大雨が降ると広い主要道路でさえ冠水し、往来が難しくなる事態が発生します。「冠水すると緊急車両が通れず、いざという時に対応できなくなる。過疎地域こそ道路整備が重要です」と阿部さん。昨年は２区・３区と連名で市に要望書を提出し、区民が安心安全に暮らせる地域づくりを目指しています。

しめ縄がまつられた日吉神社の鳥居

株式会社マリアージュ

企業紹介

代表取締役
鈴木　泰洋　さん

～基本情報～

◆代表取締役：鈴木　泰洋 さん
◆連絡先：〒029-0803
一関市千厩町千厩字石堂 26-5
◆電　話：0191-52-5700
◆ＦＡＸ：0191-52-5611
◆ＵＲＬ：http://www.mariage-web.jp

地域に暮らす一人一人のご要望に沿える会館でありたい

時代の変化～地域の声をとりいれる～

最近の結婚式は「派手婚」でも「地味婚」でも「アットホーム婚」でもなく「つながり婚」と称されるようで、そのほかにも結婚式を地域行事のなかで行うカップルや、街の公共広場で式を行い、不特定多数の市民が祝福するなど結婚式そのものをイベントや街の賑わいの目玉にする「まちなか婚」というスタイルもあるのだとか。今回は、時代と共に変化する多種多様な価値観とその要望にできる限り応えようという熱い思いをもつ冠婚葬祭総合会館である株式会社マリアージュ代表取締役の鈴木さんにお話を伺ってきました。

一関市千厩町にある株式会社マリアージュ。旧東磐井郡の地域住民にとって結婚式会場として多くの方がご存知と思いますし､「結納や結婚式をマリアージュで行いました」という方も多いかもしれません。

昭和 12 年頃､鈴木社長の祖父母が東山町から千厩町構井田に鈴木魚店を開き、地域との交流の中で「結婚式ができる広い場所があるといいね」という声のなかから、同社の前身となる鈴木会館（パレススズキ）を昭和 50 年に立ち上げたのです。そもそも、昔の日本の結婚は家と家の間関係で、結婚式もたいていは家の中で親族が集まってとり行われていました。時代とともに、結婚式の在り方も変化し大勢の人に祝福してもらえるような会館が地域の中に必要になってきたのです。

結婚式だけでなく様々な用途に合わせて

同社の会場は、350 名が集える本館バンケットセレモニーホールの他、貸し切りレストラン「ル・アンジュ」､ガーデンへとつながる新バンケットホールなどお客様のご要望に合わせて会場を選ぶことができます。マリアージュというと結婚式のイメージが強いですが、地域で開催される祝賀会や講演会としての会場や、学校やスポーツ少年団の謝恩会、慰労会等にも使用されています。また、平成 20 年からは鈴木会館を葬祭会館一休通夜ホールとして地域の利便性を考えた 24 時間対応の通夜会館に切り替え、まさに地域にとってなくてはならない集える会場となっているのです。最近では、お客様のご要望もあって巨大な LED スクリーンを導入し、音響設備にもこだわりました。また、提供される料理は、地産地消をコンセプトに岩手県南の食材を使用し地元出身の料理長が腕を振るいます。結婚式以外にも地域の会館として、思い出のひと時をゆっくりそして感動いっぱいに過ごすことができるのです。

未来につながる地域貢献

「当社は、結婚式を挙げて下さったらそれで終わりではありません。地域の方が地域で結婚され子供を産み、育てる過程のイベントごとに、継続して少しずつお手伝いが出来ていければと考えています」と鈴木社長。最近では、結婚式を挙げたご夫婦がお子様のお披露目会や七五三の記念撮影会場としてご利用されることが多くなってきたのだとか。「結婚されたご夫婦が『赤ちゃんが産まれました』と、当社に足を運んでいただけるのは本当に嬉しいこと。長い目線で、地域の活力や潤いに今後も貢献していきたいと思っています」と続けます。地域住民のゴールとしての会館ではなく、スタート地点として今後も多くの方々のつながりを大切にしていきたいという気持ちが伝わる取材でした。

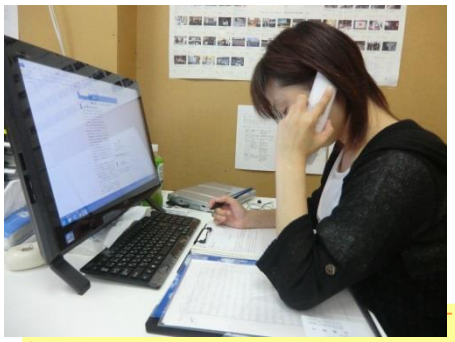
7月 30 日に生ビール祭りを開催します。売り上げの一部を沿岸地域へ寄付したいと思います。ぜひ、ご来場ください。

センターの◎◎！

― 情報紙 idea が出来るまで―

第３回目となるセンターの〇〇は、地域情報紙ｉｄｅａが作られる過程の裏側をご紹介します。ｉｄｅａは、ＮＰＯ・行政・企業・地域の情報発信によりアイデアと出会いの機会を作り、多くの方が地域づくりに参加するきっかけになればという想いで毎月発行しています。一連の過程を知れば、ｉｄｅａの見方がまたちょっと変わるかもしれません。

1 発行1～2か月前



取材申込

idea は毎月取材地域が決められており、その地域にある団体・自治会（民区）・企業の中から、担当者が取材先を決定します。新聞やインターネット、地域の方々等から情報を集め、記事の構成を練り、どんな質問をするかを考え取材を申し込んでいます。ファーストコンタクトの時はいつもドキドキです！

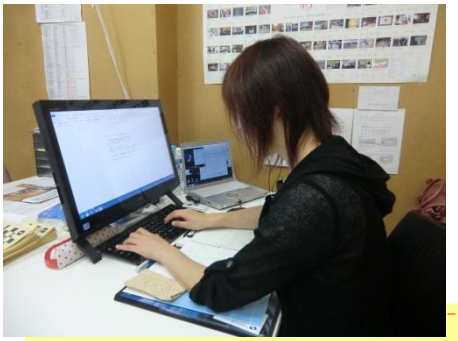
2 約一週間後･･･

取材

取材の承諾をいただいたら、お相手の方と取材日時を調整し、担当スタッフがお伺いします。初めましての挨拶と名刺交換をしてから、１時間～１時間 30 分を目安に取材に臨みます。

出だしは緊張しますが、段々とお話に夢中になり、いつの間にか 2～3 時間経ってしまうことも…

3 そしてさらに一週間･･･



記事作成

取材が完了したらさっそく記事の作成に移ります。取材でお話した内容を、約 1000 文字の文章に凝縮するのはスタッフの腕の見せ所。取材させていただいた方の想いを読者にわかりやすく伝えるために、言葉の表現一つにも気を使います。

発行前には必ず取材先に確認をとっています。

4 毎月 20 日頃

入稿

記事が完成したら、入稿前に全ページの誤字脱字をチェック。ｉｄｅａを読んでくださる方に誤った情報を伝えないように、チェックは毎月徹底して行っています。

無事発行が完了した日に、他のスタッフからもらう「今月もお疲れ様！」の言葉が身に沁みます。

一言コメント

情報紙ｉｄｅａが最初に発行されたのは、２００６年の１月。第１号は、自分達が昨年に行った事業の紹介や紙面上でミニ講座を行う等、今とはまた違った内容でした。それから８年経った今も、ｉｄｅａは内容・形を変えながら、よりよい情報をお届けしようと日々改善しています。これからもより多くの皆様に読んでもらえるよう、努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

おしらせ

花泉　花泉夏祭り・日本一のもちつき大会

花泉夏祭りで行う日本一のもちつき大会は、臼と杵を使った伝統的なもちつきで、出場する各チームはお揃いの衣装やパフォーマンスで盛り上げ、グランプリを競います。できあがった餅料理は来場者に無料で提供されます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 3 日(日)11 時～
【場所】一関市役所花泉支所 駐車場
【料金】無料
【問合】一関商工会議所花泉支所
【電話】0191-82-3130

藤沢　縄文の炎・藤沢野焼祭2014

藤沢野焼祭実行委員会では、縄文の炎・藤沢野焼祭 2014 を開催します。昭和 51 年から始まった藤沢野焼祭は、縄文時代の製法で作品を焼き上げ、16 基もの窯から一斉に燃え上がる炎は感動そのものです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 9 日(土)～10 日(日)
【場所】藤沢運動広場
【料金】無料
【問合】藤沢支所産業経済課
【電話】0191-63-5317

大東　摺沢水晶あんどん祭り

摺沢水晶あんどん祭り実行委員会では、お盆の「迎え火」にあわせ摺沢商店街の通りに大小 400 余りのあんどんを飾る摺沢水晶あんどん祭りを開催します。祭りの期間中は、商店会や町内会のイベント広場なども開催します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 13 日(水)～15 日(金)
【場所】大東町 摺沢商店街
【料金】無料
【問合】摺沢地区商工振興会
【電話】0191-75-3160

千厩　ゆかたで夜市

千厩着物虫干し会では、８月のせんまや夜市を浴衣で楽しむ「ゆかたで夜市」を開催します。当日は参加者全員で線香花火を楽しんだり、ビアガーデンに参加し友達をつくったりと、皆で楽しいひとときを過ごしませんか？

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 14 日(木)
19 時～21 時（受付 18 時～20 時）
【料金】500 円（軽食・着付けサービス付き）
【場所・問合】伊惣商店
【電話】0191-52-2043

東山　いきいきほのぼの映画会

いきいきほのぼの映画会実行委員会では、6 月から 12 月まで毎月映画を上映しています。8 月は、津波被害から立ち上がる、陸前高田市在住の 77 歳を追ったドキュメンタリー映画「先祖になる」を上映します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 19 日(火) 14 時～16 時
【場所】東山地域交流センター
【料金】入場無料
【問合】東山公民館
【電話】0191-47-2243

川崎　北上川を体感！カヌー・Eボート体験

ＮＰＯ法人北上川サポート協会では北上川での体験を通して、普段見ることのない視点から川を観察し自然環境の大切さを実感してもらうことを目的に、カヌー・Ｅボート体験を行います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 24 日(日)
9 時～11 時・13 時～15 時
【場所】カヌー…横石鉄橋～川崎船着場
Ｅボート…北上大橋付近
【料金】一人 700 円【電話】0191-36-5666
【問合】ＮＰＯ法人北上川サポート協会

一関　いちのせき市民フェスタ 14

当センターでは、市民活動団体または個人、社会貢献活動を行う企業による展示・活動紹介を通じて広く市民のまちづくりを周知する「市民フェスタ」を開催します。ステージ発表、体験ブース、美味しい食べ物等をご用意し、皆様のご参加をお待ちしております。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 8 月 31 日(日)10 時～15 時
【場所】なのはなプラザ【料金】入場無料
【問合】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400

室根　いちのせきハラミ焼きなじょったべ隊の出店情報

いちのせきハラミ焼きなじょったべ隊が、下記イベントに出店します。この機会に鶏のハラミを使用したＢ級グルメ「ハラミ焼き」をご賞味ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

①おらが自慢のでっかい花火（川崎）
【日時】平成 26 年 8 月 16 日(土)19 時～21 時
【場所】北上川河畔
②全国地ビールフェスティバル in 一関
【日時】平成 26 年 8 月 22 日(金)～24 日(日)
【場所】一関文化センター前広場
【問合】室根公民館【電話】0191-64-2347

一関　平成 26 年度交流・研修事業「秋田美術館と男鹿半島」

ＮＰＯ法人一関文化会議所では、交流・研修事業「秋田美術館と男鹿半島」紀行への参加者を募集しています。研修場所は、秋田県立美術館、入道崎灯台、男鹿水族館、半島絶景ラインです。8 月 4 日から申し込みを受け付けます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年 10 月 1 日(水)7 時発
【場所】一関市総合体育館 発着
【料金】一人 5,000 円　【定員】80 名
【問合】ＮＰＯ法人一関文化会議所
【電話】0191-32-4333

今月の表紙

この写真は、花泉町の御嶽山御嶽神明社が行う「夏越の大祓」で使う茅の輪です。神事の時に茅の輪をくぐり罪や穢れを祓うもので、今年はヨガ、足もみ体験イベントも同時に行いました。

Q&A　あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q　ＮＰＯ法で定められている、情報公開とは何ですか？

A　ＮＰＯ法人は、事業報告書、財産目録、貸借対照表、活動計算書、役員名簿、定款等を事務所に置き、社員や利害関係者から閲覧の請求があった場合には閲覧させなければならないことを定めるものです。

発行■いちのせき市民活動センター　〒021-0901 一関市大町 4-29 なのはなプラザ4F TEL0191-26-6400 Fax0191-26-6415
せんまやサテライト　〒029-0803 千厩町千厩字町 149 TEL0191-48-3735 Fax0191-48-3736
ブログはコチラ